

登別市総合計画第3期基本計画 目標への接近度を図る指標の進捗状況（令和2年度）

平成28年度にスタートした登別市総合計画第3期基本計画（以下「基本計画」という。）では、計画の実現に向けた指標として、数値目標を設定しています。

目標年度である令和7年度の数値に対する現在の実績を把握し、今後の計画推進に役立てるため、次のとおり令和2年度の進捗状況を取りまとめました。

1. 評価基準について

令和2年度の効果検証における評価基準は次のとおりとしています。

- 『達成』・・・実績値が「目標値（令和7年度）」を上回っているもの。
- 『進展』・・・実績値が「目標値（令和7年度）」を下回っているが、基準値を上回っているもの。
- 『継続』・・・実績値が基準値と同程度のもの。
- 『遅延』・・・実績値が基準値を大きく下回っているもの。
- 『評価なし』・・・実績値がないもの。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、例年の実績値から大幅に減少しているものもありますが、原則、上記の評価基準に準ずることとする。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、事業の中止もしくは休止としており、実績値が算出できないものは評価なしとする。

2. 令和2年度の目標への接近度を図る指標の進捗状況

目標値を上回った『達成』が21項目（19.4%）、目標値は下回っているが、概ね基準値を上回っている『進展』が31項目（28.7%）で、これらを合わせると52項目（48.1%）となり、全体の数値目標のうち5割程度の項目が順調に進んでいます。

しかし、実績値が基準値と同程度の『継続』が9項目（8.3%）、実績値が基準値を大きく下回った『遅延』が26項目（24.1%）となっております。

新型コロナウイルス感染症の影響により順調に進んでいた取組が『継続』や『遅延』となったものもありますが、目標達成に向けて感染症対策を講じた事業の実施や更なる取り組みの強化・充実を図ってまいります。

【章ごとの進捗状況】 ※構成比は項目毎に小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

区分	指標数	達成	進展	継続	遅延	評価なし
第1章 やさしさと共生するまち	28	6 (21%)	9 (32%)	3 (11%)	6 (21%)	4 (14%)
第2章 自然とともに暮らすまち	23	6 (26%)	6 (26%)	1 (4%)	7 (30%)	3 (13%)
第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	15	4 (26%)	3 (20%)	1 (7%)	4 (27%)	3 (20%)
第4章 調和の中でふるさとを演出するまち	14	1 (7%)	8 (57%)	3 (21%)	1 (7%)	1 (7%)
第5章 豊かな個性と人間性を育むまち	16	3 (19%)	2 (13%)	1 (6%)	6 (38%)	4 (25%)
第6章 担いあうまちづくり	12	1 (8%)	3 (25%)	0 (0%)	2 (17%)	6 (50%)
合 計	108	21 (19.4%)	31 (28.7%)	9 (8.3%)	26 (24.1%)	21 (19.4%)

◆各章別の進捗状況

第1章	やさしさと共生するまち
<p>28項目中、「生活困窮者自立支援法に基づく相談件数」、「市が妊婦の身体的・精神的・社会的状況について把握している割合」、「救急医療の受入時間」、「歯科救急医療の受入時間」、「救急救命士の人数」、「子育て支援拠点の設置数」の6項目で『達成』となったほか、「小地域ネットワークの参加町内会等の数」、「介護や支援を必要としない自立高齢者の割合」、「相談支援事業所数」、「日中活動系サービス利用者数」、「特定健康診査の受診率」、「健康診査の受診率」、「若い世代の健康診査の受診数」、「子育て世代を対象に「食」を中心としたへるしー親子相談への参加人数」、「乳がん検診受診率」、の9項目が『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「大腸がん検診受診率」、「麻しん風しんワクチン予防接種（I期）の接種率」、「BCG予防接種の接種率」、「新規要保護児童数」、「民間シェルター（DV被害者の緊急避難施設）利用者の市民人数」、「女性の審議会や委員会への登用率」の6項目については基準値を下回っており、とくに検診受診率や予防接種の接種率はコロナ禍による医療機関の受診控えが影響したことから前年度からの実績値も減少しています。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症の収束やワクチン接種が進んでいくことを見据え、引き続き検診や予防接種の必要性の周知徹底等に努めてまいります。</p> <p>※「フォーラム（懇話会・プラタナス含む）、出前講座の参加者人数」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため男女共同参画フォーラム等は中止としたため『評価なし』としています。</p>	
第2章	自然とともに暮らすまち
<p>23項目中、「環境調査における環境基準を超えた項目」、「事業系ごみの年間排出量」、「火災発生件数」、「交通事故件数」、「消費生活相談の解決率」、「市内の犯罪発生件数（年間）」の6項目で『達成』となったほか、「最終処分場の年間埋立て量」、「不法投棄件数」、「し尿の年間汲み取り量」、「汚水処理人口普及率」、「住宅用火災警報器設置率」、「消費生活相談件数」の6項目が『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「環境保全活動に取り組む人数」、「家庭系ごみの市民1人・1日当たりの排出量」、「自然環境学習指導者の人数」、「キウシト湿原における観察会等の参加者数」、「交通事故死亡者数」、「消費生活展の参加者数」、「無料法律相談利用件数」の7項目については基準値を下回っており、とくに観察会や生活展などは新型コロナウイルス感染症の影響で一部開催を中止したため前年度からの実績値も減少しています。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症の状況に注視し、中止とした観察会や生活展等を開催し、多くの市民に自然環境や消費生活に関心を持ってもらえるよう普及啓発に努めてまいります。また、コロナ禍による巣ごもり消費に伴うごみの増加も懸念されることから、引き続き紙類の集団回収や食品トレーの店舗回収等のごみ減量化に関する普及啓発に努めてまいります。</p> <p>※「環境家計簿の活用に取り組む世帯の割合」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため「子ども環境家計簿」の実施ができなかったため『評価なし』としています。</p>	

第3章	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
<p>15項目中、「製造品出荷額等」、「法人市民税納付対象企業数」、「有効求人倍率」、「認定農業者数」の4項目で『達成』となったほか、「起業件数」、「ホッキ貝漁場におけるホッキ空貝の残存量」、「登別漁港屋根付岸壁の延長」の3項目が『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「新製品・特産品開発件数」、「観光入込客数（年間）」、「宿泊延数（年間）」、「連泊数」の4項目については基準値を下回っており、とくに観光入込客数は不要不急の外出自粛、他都道府県への往来自粛、外国人観光客の渡航制限の措置により、前年度からの実績値も減少しています。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症の状況に併せて、また、国際的な往来の再開を見据えて、各種団体と連携を図りながら観光入込の回復を目指すための取組を進めていきます。また、市公式ウェブサイトにも補助金の活用事例等の紹介や登別ブランド推進事業の周知に努めてまいります。</p>	
第4章	調和の中でふるさとを演出するまち
<p>14項目中、「区域区分の見直し回数（期間累計）」が目標値を上回り『達成』となったほか、「市街化区域の市民一人あたりの都市公園面積」、「長寿命化計画に基づく都市公園における遊具の健全度」、「上水道石綿セメント管の更新」、「バリアフリー化した公営住宅の割合」、「市営住宅の戸数」、「既設橋梁の修繕数」、「市道認定路線延長の改修率」、「幹線道路（都市計画道路：国道及び道道を含む）の整備率」の8項目が『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「公共施設等への草花、樹木の植栽実施町内会数」は基準値を下回り、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、活動を中止した町内会があり、前年度からの実績値も減少しています。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症の状況に注視し、実施町内会の増加に向けた取組を進めていきます。</p>	
第5章	豊かな個性と人間性を育むまち
<p>16項目中、「児童・生徒のボランティア活動、または地域活動に取り組んでいる学校の割合」、「青少年センターによる巡回回数」、「児童生徒の街頭指導件数」の3項目で『達成』となったほか、「部活動加入生徒の割合」、「国、道及び市が指定・登録する文化財の数」の2項目で『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「生涯学習事業への参加者数」、「図書館を利用した市民の割合」、「不登校児童生徒の割合」、「文化振興事業への参加者数」、「歴史文化施設の入館者数」、「体育施設の利用者数」の6項目については基準値を下回っており、とくに各イベントの参加者数や施設の利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止や各施設の臨時休館となったため前年度から実績値も減少しています。</p> <p>今後、各イベントや施設における感染症対策を徹底し、参加者及び利用者の安全安心を確保するとともに、事業への参加者数や施設の利用者数の増加に向けた取組を進めていきます。また、各学校やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心の相談員等との連携を深め、不登校に係る課題解決に努めてまいります。</p> <p>※「一斉学校公開日の来校者に占める地域住民の割合」、「地域活動協働本部におけるボランティア登録者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止としたため『評価なし』としています。</p>	

第6章	担いあうまちづくり
------------	------------------

12項目中、「のぼりん通信による周知回数」の1項目で『達成』となったほか、「市民自治推進委員会開催回数」、「登別市市民活動センター利用団体登録者数」、「国際理解講座の参加者数」の3項目で『進展』として順調に推移しています。

しかし、「移住ワンストップ窓口への相談者数」、「自己啓発研修の回数」の2項目については基準値を下回っています。

今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、地方移住への関心が高まっていることから本市の情報発信を強化し、積極的な移住PR活動を実施するよう努めてまいります。また、交流事業の実施や職員の自己啓発研修の利用喚起も努めてまいります。

※「地区懇談会等開催回数」、「協働のまちづくりセミナー、研修会の開催」、「姉妹都市等（四五都市を含む）との都市間交流人数」、「ちょっと暮らし利用者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止としたため『評価なし』としています。